

# 京都市東部山間埋立処分地(エコランド音羽の杜)建設事業

受賞機関 京都市環境局施設部管理課

## 1. はじめに

今日本国内の一般廃棄物最終処分場が非常に逼迫している現状である。その中で京都市として初めての本格的な山間埋立処分場が事業計画発表以来22年間、工事に着手してから17年間をかけ、この度完成した。この処分場は、景観保全はもとより、環境面でより優れた施設を構築して、廃棄物処理の安全性を確保している。

## 2. 処分地の概要

事業用地：1,564,000㎡  
埋立面積：240,000㎡  
埋立容量：4,500,000㎡

## 3. 事業の概要

処分地は標高400m～600mに位置し、三方が稜線に囲まれた地域で上流に向かって広大なポケットを有する地形となっており、埋立地として立地条件を備えた地形と言える。事業地内には、埋立物を安全に貯留する音羽ダム(高さ68m、堤頂長192m)とその上流に水の機能を持たせた治水水利ダム(高さ35m、堤頂長80m)を建設するとともに進入道路として主要道から処分地までの延長5.1kmの造成を行った。進入道路は典型的な山岳道路であり、その大半は風致地区に指定されている。景観を保全するため、土地改変の少ない橋梁部20カ所、トンネル部3本の工法を採用した。

処分地の周囲には維持管理及び表流水をカットするため、左岸部延長1.5km、右岸部2.2kmの道路造成も行い、防災設備として5基の砂防ダム及び洪水調節・利水調節機能を有する2基のダムの築造を行った。



音羽ダム下流から望む



音羽ダム上流から望む



進入道路全景を望む



音羽ダム上流から下流を望む

埋立物からの浸出水の遮水工法は、処分地が急峻な地形のため通常行われているシート等の平面遮水工法でなく二重の鉛直遮水工法(グラウト)を採用して、処分地からの浸出水の漏水を防ぐことを基本としている。また、長期にわたり処分地を安全に管理していくための各種調査のモニタリングシステムを構築している。

本処分地は全国的にも埋立深さ、施設規模においてもわが国最大級の規模をもっており、展示室、見学室を広く市民に開放してゴミに対する啓発も行っている。

受賞賛助会員 石川島播磨重工業(株)、(株)奥村組、川田工業(株)、(株)建設技術研究所、公成建設(株)、(株)鴻池組、セントラルコンサルタント(株)、高田機工(株)、大日本土木(株)、(株)名村造船所、日本技術開発(株)、日本国土開発(株)、日本鋼管(株)、日本鉄塔工業(株)、(株)間組、パシフィックコンサルタンツ(株)、松尾橋梁(株)、(株)横河ブリッジ

